



あなたもチャレンジ！ 家庭菜園

魅力野菜で自家菜園の活性化を

Kitchen Garden

購買課
杉山雄一職員



一年の計は元旦にありといいますが、とかくマンネリになりやすい自家菜園を活性化するために、今年お薦めしたい野菜の種類や品種、育て方などについて考えてみましょう。

早春から夏にかけて

一番育てやすく、冬から春まで長い間取れるのはナバナです。改良品種の「花飾り」などは耐寒性が強く、花ぞろいも良く美味です。

3月植えのジャガイモは、小粒ながら黄金色で味の良い「インカのめざめ」「インカのひとみ」「インカルーシユ」の3兄弟で、話題性もあります。ピーマンは苦味や臭いが少なくキュートな小型で、子どもにも好まれる新品种「ピー太郎」、赤・黄・だいだい色をそろえ、平型の「フルーツパプリカ」などで新しい魅力が加わりました。

大型トマトを立派に作り上げるのは大変難しいですが、耐病性で育てやすくなった「ホーム桃太郎」、桃太郎ホープ」「麗容」などが味も優れています。

育てやすくよく取れる5月までのつる性インゲンはずむ取り組んでください。品種は古くから味に定評

のあるインゲン「ケンタツキードンダー」などです。しっかりと交差させた支柱を立て、つるが伸び始めたら遅れずに支柱へ誘引し、半月に1回、少量の追肥をするだけで、朝夕2回、2ヶ月ぐらいい収穫し続けられ、新鮮な格別な味を楽しむことができます。

夏から秋にかけて

夏の青物としては、強健で連作にも耐え作りやすい小松菜が一番のお薦めです。身近な菜園なら、抜き取り収穫だけでなく、株をそのまま残して、下の方の葉から1〜2枚ずつ葉かき収穫すれば、数カ月以上も長い間収穫し続けることができます。「きよすみ」は強健で夏に強く美味。私の庭先菜園では6月まで7月下旬から実に8ヶ月間も取り続け、最後は4月初めにとう立ちしたものを、バナ同様におひたしで食べました。

9月まきの小カブは、色白で色つやが良く肉質が緻密で味の良い「たかね」、大きくなってもす入りせず味

の強い強健な「耐病ひかり」、上が赤紫色、下が白色でサラダや酢漬けに好適な「あやめ雪」などがお薦めです。ニンジンでは、これまでオレンジ色になり甘さと風味に優れ、煮物やサラダにして彩りの良い「ベターリッチ」が魅力的です。

ネギは味を重視した品種を選び、自家菜園ならではの食味を楽しみたいものです。「九条太」を筆頭とし、「下仁田」「松本一本太」など全国的に在来系の味の良い品種があり、それらを選ぶことが大切です。「あじばわー」(全農で筆者育成)は下仁田と湘南の交雑育種系で、その軟らかな味から直売用として評価されてきました。

板木技術士事務所 ● 板木利隆



お詫び

◎「ひろばNo.148」(9-10月号)10ページ家庭菜園の記事に誤りがありました。二日目、右から9行目…
誤)…畑は前もって石灰と堆肥を全面にまき、
正)…畑は前もって石灰を入れ、約1週間後に堆肥を全面にまき、
読者の皆様ならびに関係者の方々に迷惑をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。



The marriage for you?

広報ふじ特集「結婚」について考える
においてインタビューを受けました

金子浦支店
田子浦支店
金融渉外
村林 拓

結婚とはあなたにとって
何ですか？

「たすけあい」

私は貯金の渉外を担当しています。妻は保育士で、現在4歳児担当です。休日によく一緒に散歩をします。歩きながらでないといえないような小さな喫茶店やケーキ屋さんなどに入ることが二人のブームです。二人とも富士市生まれの富士市育ち。仕事を通して少しでもこの街に貢献できたらいいなとよく夫婦で話します。

ふじ結婚支援ネットワーク会議

富士市は、少子化対策の一環として今年度「ふじ結婚支援ネットワーク会議」を発足しました。JA富士市・富士商工会議所・結婚式場の代表者など10団体が参加しています。得意分野での特長を生かし、お互いの取り組みを尊重しながら連携し協力して、結婚支援の相乗効果を高め、市の実情に沿った効果的な結婚支援策に取り組みます。上記インタビュー記事は広報ふじ11/5号に掲載されました。



「あなたにとって結婚とはなんですか？」と質問する富士市役所総務部/シニアプロモーション課の長澤さん